

農村主婦は子供の教育を

どう考えているか

職業が家伝来のいわゆる家業でなくなり、自分の能力と意志で自由に選べる現在では、農業に従事する者も段々減つて来ている。それでも総人口の三割を占めています。

一図は農林省新規月学卒者調査から最近の新卒農業

就業者の状況であるが四二年の新卒者で農業に従事する人は六万四千人で前年より八千人も減り、かつてない減少数となつた。農家子弟の卒業者は全体の五％であり、進学者を除いた卒業者で一〇％にすぎない低い水準の農業従事にとどまつている。

しかしその内容を見ると

まず中学卒と高校卒の割合で高校卒が五六％と過去年次にならぬ高い率を示し、漸次増加の傾向である。また中学卒は逆に三七％と過去年次より漸次減少して来ていることから、質のよい農業従事者の割合が高まつたと考えられる。

こうした傾向は意識調査で若年層のうち二五才以下の青年において農業経営に関する批判主張がきびしく意欲的であつた結果が出て

いる。
二図では農村主婦が子供の教育に対する考えがどうなつてゐるか。意識調査結果から、特に長男、二三名以下、女子別に見ると、農

家の後継という問題を含み長男は専業農家及び一種兼業農家（農業を主とする農家）では大学までよりむしろ高校までの教育を志望し二種兼業農家（農業を復とする農家）では大学までの志望が強い。

二三名以下は専業農家、一二兼業農家とも大差なく農業以外の就職を目標に長男より強く大学までを志望している。女子では高校までの志望が大部分で大学までの志望は二割程度しか見られない。

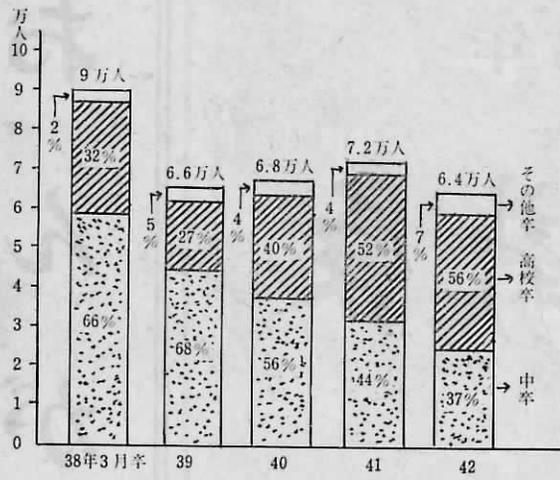
これはやはり専業農家では長男が早く成長し一番早く農業労働の担い手にした

との意向が強い結果と考えられる。
二三名以下においては、専業農家兼業農家を問わずなるべく大学までやり就職戦線での有利な条件と将来の生活安定を考えた母親としての教育志望を表明して

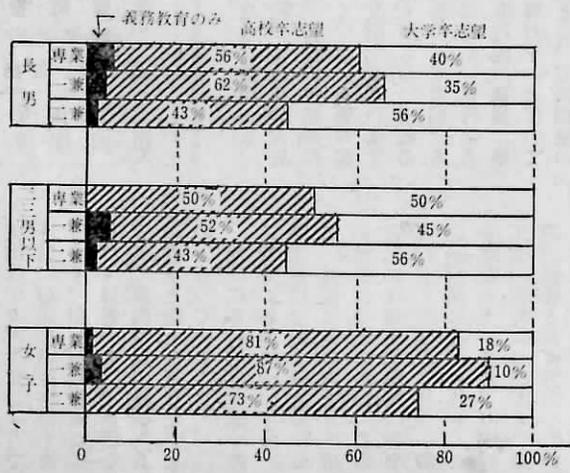
いる。
農村主婦は子供の教育についてわが家の農業経営の将来とわが子の将来を考へて望んでいるが、子供は殆んど社会の現実と周囲の環境により農業以外の就職を考へているところに農業労働強化に悩む母親の迷いがあるのではないだろうか。

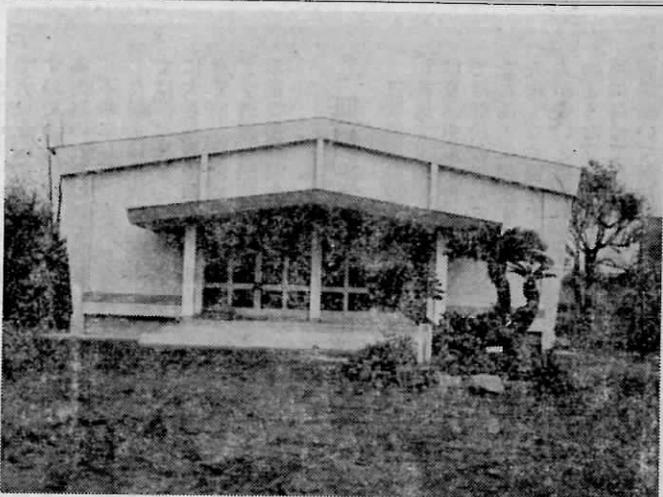
農林省福岡統計調査事務所
金子彦二

第1図 新卒者の農業就業者推移



第2図 農村主婦が考える子供の教育志望





完成した島門小学校講堂

島門小学校講堂落成

昭和四十二年四月二十一日

日、不慮の火災のため焼失

した島門小学校講堂は、その後町民各位の暖い御理解

と御協力によりこゝに見事に完成したことをお知らせいたします。

工事概要

一、構造

鉄骨造りカラー鉄板葺き
外部モルタル塗り

二、延面積

三七〇、九八九平方メートル

トル

二、総工費

八、四六三、〇〇〇円

四、工期

自昭和四十二年七月十五日

至昭和四十二年十二月十日

国をささえる若い力

陸、海、空自衛官募集中

応募資格 十八才から二十五才未満の健康な男子
身分、待遇 特別国家公務員で二等陸(海、空)士
初任給月額一六、〇〇〇円のほか各種手当、賞与 年三回
衣、食、住は無料

※くわしい手続きと志願申し込みは役場庶務課へ

従業員募集 地元の職場

新西工業(有) 研磨工場

当工場は昭和三十九年本町の産炭地振興企業第一号として誘致したもので業績は順調に進展して来ましたが、最近は労働力不足のため充分な操業が困難な状況にあります。

つきましては新春を期して男女従業員の急速補充に努力してありますので多数の御応募をお願いします。

●募集人員

三十名

●職種

簡単な手先軽作業

●条件

①年令 男子二十才まで

- ②初任給 女子四十才まで
男子 一、五万円〜一、八万円
- ③昇給賞与年二回 一、四万円〜一、七万円
- ④退職金制度あり
- ⑤各種社会保険加入
- ⑥交通費半額支給
- ⑦専用のマイクロスパス運行水巻町頭末―遠賀川駅―由生津の任意の地点で乗降できます。
- ⑧パートタイム制あり (二時間八千四百円)

※詳細は面談の上決定 (面接随時)

遠賀町由生津 新西工業(有) 研磨工場

本社小倉区下道津四丁目 電話五六一〇〇六一

☆ 交通事故をおこしたときの処置

あなたがもし交通事故の加害者になつたとき、どうしたらよいでしょうか。交通事故は、多くの場合、予則しないときに起ります。そして被害者ばかりでなく加害者にとつても大きな不幸であることにはかわりありません。

もし事故を起こした場合加害者は事故の処置に万全をつくすことが、この不幸を第一に考えましょう。

☆ 交通事故被害者のかたがたへ

不幸にして交通事故にあわれたときは、このようなおこしはぜひ――

一、小さな事故でも警察へ自動車の運転者が事故を起こした場合の義務として、被害者の救護と警察への事故発生報告を行わなければなりません。

二、ところが悪質な加害者は、事故による警察の処分をおそれ、被害者に対して、円満に話をつけてあげるからと頼みこみ、警察への届出がなされなかつたため事故の責任を一方的におしつけられてしまった例があります。

三、事故にあつたときは、必ず警察へ届けて調査してもらうことがたいせつです。

四、軽いけがでも医師の診断を

加害者のいう住所や名前をそのまま信用して別れたがあとでそこに住んでいなかったとか、また病院に運んでくれたが、治療を受けている間に逃げられたということがよくあります。

このようなことがないよう加害車輛の番号や、運転免許証を見せてもらつて、相手の住所や名前をたしかめておくことがたいせつです。

事故の現場で、人が集つて来たから恥ずかしいとか、少し痛いただけだからなどと、いつて、医者にみてもらわ

今月は「町県民税第四期分」及び「国民健康保険税第四期分」の納期です。
 期限内に納めましょう。
 町 県 民 税 1月25日
 国民健康保険税 1月31日

納税者の皆様方へ

申告納税につきまして、日頃から協力をいただき感謝いたしております。本年もまた、所得税、個人事業税、個人住民税の申告の時期となりました。申告の要領につきましては、昨年と同様であります。次のことと留意されましてご協力下さい。

1. 所得税、個人事業税、個人住民税の申告期限はすべて3月15日になっております。
2. 所得税の確定申告書を提出しなければならぬ人は、個人事業税、個人住民税の申告事項もあわせ

冬期火災予防

● 酷寒の折、皆様のご家庭ではいろいろな暖房器が使用され、また農家では乾燥機が使われ、四季を通じて火を最も多く使う時期です。特に冬期は、空気が乾燥しますので一寸した不注意で火災を起すことになりまして十分ご注意ください。

● 火事の際はまず通報
 不幸にして、火災が発生した場合は他人の協力なしでは消せませんので、すぐに大きな声で隣近所に知らせて協力を求め、消防団にまず通報し消防隊が到着するまで初期消火に万全を期すことが肝心です。

● 通報(電話)のしかた
 ・ 遠賀川電話局に火事と云つて下さいと直ちに消防機関が出ます。(電話番号は云わないで良い)
 ・ 消防機関が出たら、火事発生の場所、状況を「ハツキリ」云つて下さい。
 「注意」
 ・ 農村集団電話の場合は「0」のダイヤルを回して遠賀川電話局に火事と云つて下さい。
 「一九番」にダイヤルを回しても消防機関は出ませんのでご注意ください。

無料巡回法律相談

日頃悩みの種である金銭の貸借や土地家屋の問題又は交通事故の件で自分一人では解決のめどもなく、また他人に相談する適当な人物もなく悩んでおられる人が多いと思われまふ。このような諸問題を本人の立場になつて専門家の助言指導に基いて解決していくた

援護関係巡回相談

左記のとおり巡回相談が行われますので御利用下さるようお知らせします
 一、旧軍人軍属等で公務傷病によつて死亡した場合(復員後死亡も含む)の遺族援護
 二、旧軍人軍属及び一般邦人の未帰還者で未届のものについて
 三、戦傷病者の援護について

て
 四、旧金鶏勲章年金について
 五、引揚者特別交付金、引揚者給付金について
 六、右事項のはか援護に関する業務

とき 二月六日 十時から十六時まで
 ところ 中間市役所内

戸籍謄本の請求について

入学、就職シーズン(二月/四月)になりますと窓口事務が混雑し、大変ご迷惑をおかけしますので、戸籍謄本、印鑑証明等住民係に請求される書類は二、三日余裕をもつて請求下さるようお願いいたします。

「知事へのはがき」御利用を

福岡県広報室では、県政に対する意見・要望・苦情を知らせていただくため、「知事へのはがき」を用意してまいりますので、どうぞご利用ください。

なお、知事へのはがきはもよりの市町村役場、および

び県農林事務所の窓口へ備えつけています。
 およせ下さつたものについては、直接知事から回答をさしあげますので、建設的なご意見、ご要望のある人はどしどしお寄せ下さい
 (広報室)

乳児相談中止について

毎月第三月曜日に実施しております乳児相談は一月十五日が休日のため今月限り中止いたしますのでお知らせします。

訂正とおわび

町報十二月号の記載あやまりを次のとおり訂正させていただきます。

一、誤記
 別府 有吉博美
 別府 泉原義則

虫生津 古野隆徳
 括弧内が誤り
 一、記載もれ
 別府 石田弘己
 木守 太田英幸
 上別府 石松憲司

拜啓 先般出火の際は早速御馳付下され何かと御高配に預り大変御迷惑を御掛け致しました其上過分の御見舞を賜り御厚志有難く厚く御礼申上ます
 実は一々参堂の上御礼申上可管の処何かと取紛れ甚だ勝手ながら本紙をかりて厚く御礼申上ます 敬具
 昭和四十二年十二月二十九日
 福岡県遠賀郡遠賀町木守

白小下
 橋林城
 杉藤
 子雄宝